

## 全国約 400 名の MR が利用する BI システムに Dr.Sum EA を採用 実績値を的確に把握、糖尿病の未来や治療、ケアを変える取り組みを加速

### Interview



ノボ ノルディスクファーマ株式会社  
営業本部ビジネスアナリシス部  
部長 内山 幹夫氏 (写真左)

営業本部 ビジネスアナリシス部  
成田 由紀氏 (写真右)

### Company Profile

#### ノボ ノルディスクファーマ株式会社

設立: 1980年6月20日  
所在地: 東京都千代田区  
事業内容: 医療用医薬品、医療用具  
の輸入、製造、販売。  
URL: <http://www.novonordisk.co.jp/>



### ユーザーの業務効率を改善できたのが最大の Dr.Sum EA 導入効果 既存データの視覚化、ユーザー層の拡大など今後にも期待

#### インスリンアナログ製剤の フルラインアップを提供

デンマークに本社を置くノボ ノルディスク社は1923年の創業以来、糖尿病治療に不可欠なインスリン製剤、および成長障害や血友病の治療薬の研究/開発に取り組み、常に画期的な製剤や、患者さんにとってよりよい投与方法などを提供してきた。現在は世界的な糖尿病ケアのリーディングカンパニーとして世界 80 カ国に 26,000 名以上を擁している。

そのノボ ノルディスク社の日本法人であるノボ ノルディスクファーマ株式会社 (以下 NNPL) は、患者、医療従事者をはじめ、社会に大きく貢献できる医薬品の製造、販売やサービスの提供、またリーディングカンパニーとして糖尿病の未来を変え、糖尿病の治療を変え、糖尿病のケアを変えるためのさまざまな取り組みを展開している。

同社の製品は、日本国内の糖尿病治療用インスリン製剤の 7 割以上のシェアを占めており、また、2007 年 12 月に 1 日 1 回の皮下注射で低血糖も少なく十分な血糖コントロールを得ることができる新しい基礎インスリン製剤、レベミル® を発売したことで同社は日本で唯一、インスリンアナログ製剤のフルラインアップを持つ会社となった。

新薬発売を機に同社は、約 400 名の医薬情報担当者 (MR: Medical Representative) が利用するビジネスインテリジェンス (BI) システム「サブリー (Satisfactory And Practical Researcher)」を構築。その BI ツールとして Dr.Sum EA を採用した。

#### 新しい BI ツールの検討 操作性・コストパフォーマンスを重視

NNPL は 2006 年に BI システムを導入し、販売データやマーケット情報を自由に取得し分析できる環境となった。また営業職 (以下 MR) へは利便

性を考慮してレポートがメールで配信されるようになった。BI システムの導入に伴い、同社に蓄積されていた情報を的確に活用できるようになり高い評価を得ている。

しかし、MR の中にはメールではなく自分で自由に情報を取得したいというニーズがあった。理由としては受信したメールは Excel に簡単に加工できないことや、過去メールの検索に時間が掛かることがあげられた。

2007 年まで MR として活動し、現在、営業本部ビジネスアナリシス部に所属する成田 由紀氏は「メールで最新の販売データが進捗状況と共に送られてくることは非常に便利でしたが、先に述べた様な自由な分析をしたいというニーズが少なからずありました。そこで、部署の異動を機に必要なデータを自由に取得できるツールの導入を検討し始めました」と話す。

こうした課題を解決するために NNPL では、いくつかの BI ツールを検討した結果、Dr.Sum EA の採用を決定した。

#### “サブリー”の導入 自由なデータ分析環境を構築

新しい BI ツールは、既存 BI システムを補完する“サプリメント”と、社内の浸透を図る意味で「サブリー」という愛称で呼ばれている。2008 年 2 月にスタートしたサブリーは、既存 BI システムと同じデータソースから Dr.Sum EA の DWH を作成し、Dr.Sum EA Datalizer Professional for Web でレポートを表示する。MR は、このレポートでデータを自由に参照でき、簡単な操作で各自の販売実績が容易に分析可能となった。また、ワンクリックで Excel に出力できることも好評であった。

Dr.Sum EA が採用された理由としては、コストパフォーマンスやウェブ上でユーザーが自由にデータを加工して簡単にレポートを作成できる操作性等があげられる。成田氏は、「特に 12 月にレベミル®

#### 導入背景

- MR の業務効率の向上

#### 導入ポイント

- コストパフォーマンス
- ウェブ環境での利用
- 柔軟なデータ分析

#### 導入効果

- アクセススピードの向上
- データの視認性向上
- データ分析環境の向上

が発売され、MRがより詳細なデータを分析することができるツールの導入が求められていました。いくつかのBIツールを検討した結果、Dr.Sum EAは高速で大量のデータを扱える上に、何より高いITスキルを必要とせずウェブ上で簡単にデータを分析できる操作性が大きな魅力でした」と話している。

### Dr.Sum EAの機能を有効活用 MRの業務効率を大幅に改善

Dr.Sum EAの導入効果について成田氏は、「Dr.Sum EAは、アクセス権限を設定できるので公開するデータを必要最低限に絞ることができ便利でした。ユーザーはログインすると自分のデータのみが参照できるので、不必要なデータの流出を防げるのでセキュリティの観点からも大変有効でした」と話す。

また、サプリの導入により、必要なデータを自分で素早く入手できるようになり、会議資料の作成やデータ分析作業などのMRの業務効率が大幅に向上している。

同社は、病院や薬局などの名前や住所、電話番号などが登録されているアルトマークデータをDr.Sum EAに登録し、Dr.Sum EA Datalizer Professional for Web上でGoogleマップと連携している。その効果を成田氏は、「今までは初めて訪問する医療機関の場所を調べて地図のページを印刷したり、途中で車を停めて地図帳で場所を探したりすることが当たり前でした。サプリを使用すれば地図や施設の納入実績、医療機関情報に効率よくアクセスできるためMRにも好評です」と話している。

さらに、サプリの操作方法、Q&A、活用方法などをまとめたポータルサイトを公開しているのも同社の工夫だ。今までは紙のマニュアルを配布していたが、ポータルサイトではムービーを活用した動的マニュアルと印刷できる静的マニュアルの両方を公開している。成田氏は「Dr.Sum EAは簡単に使用できるので、ユーザーへの特別な教育は必要ありませんでした。マニュアルをポータルサイトに掲載することで紙資源の削減にもつながりました」と話している。

営業本部 ビジネスアナリシス部 部長 内山氏は、「NNPLでは経営指針の中の目標行動規範の1つに“業務の品質を継続的に改善しなければな

らない”があります。我々は常に社外、社内を問わず顧客からの声に耳を傾け、継続的な業務の改善に努めています。今回のサプリの導入はMRの業務効率を改善したことも含め会社にとっても非常に効果的でした」と話している。

### Dr.Sum EA Visualizerの導入 ユーザーの拡大も検討

現在、同社ではDr.Sum EA Visualizerの構築も検討している。成田氏は、「現在サプリは数値データを提供していますが、Dr.Sum EA Visualizerによるデータの視覚的な提供を検討していきます」と話す。

また、成田氏は、「現在、営業本部で使用しているサプリですが、今後ユーザーの拡大も考えています。サプリの導入により、現在MRは、日々の進捗を確認するためには既存BIシステムから送られてくるメールを参照し、より詳しいデータを必要とする際にはサプリを利用するという確かなツールの使い分けができています。今後ユーザーを拡大する際にもユーザーニーズに合わせてDr.Sum EAの活用シーンを検討していきたいと考えています」と話している。

### 導入製品

#### Dr.Sum EA

大容量のデータを部署間や全社規模で集計分析するための多次元高速集計検索エンジン。

#### Dr.Sum EA Datalizer Professional for Web

ブラウザ上でDr.Sum EAのデータを集計・分析するための環境を構築するツール。

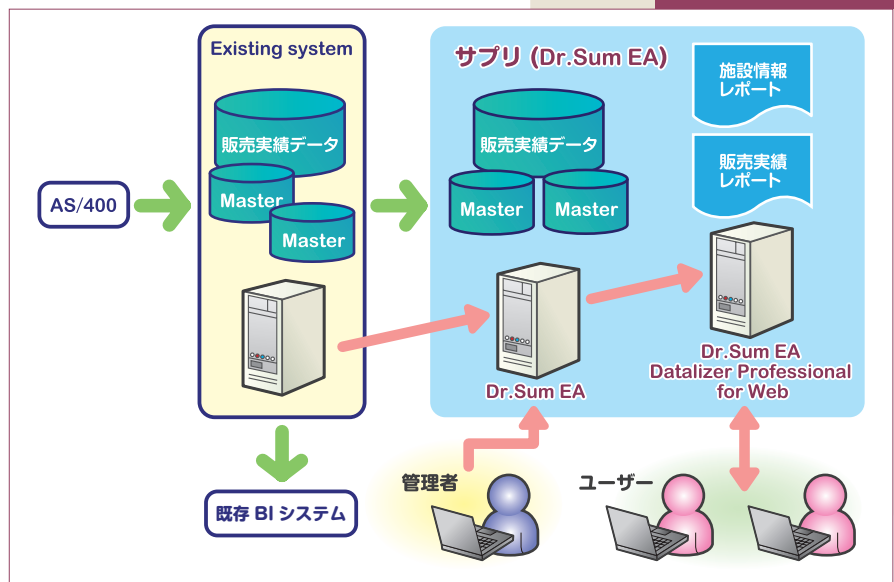
#### Dr.Sum EA Visualizer

Dr.Sum EAの集計データを可視化してグラフィカルなイメージでポータルに表示させるビジュアライゼーションシステム。

■ノボ ノルディスクファーマ株式会社の主要製品であるインスリン製剤、成長ホルモン製剤



### システム構成



### ウイングアーク1st株式会社

www.wingarc.com

E-mail: tsales@wingarc.com

[本社] TEL: 03-5962-7300 [大阪] TEL: 06-6225-7481 [名古屋] TEL: 052-562-5300

[福岡] TEL: 092-292-1092 [仙台] TEL: 022-217-8081 [札幌] TEL: 011-708-8123 [新潟] TEL: 025-241-3108



本リーフレットに掲載した会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。掲載内容は2008年10月現在のものです。

CA0124C1702